

スコアシート		重点評価項目 : W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									<b>3.2</b>		
<b>Q-1 室内環境</b>							0.40		<b>3.2</b>		
<b>1 音環境</b>							<b>3.0</b>	0.15	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.1</b>
<b>1.1 騒音</b>							<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.29	
1.1.1 1 暗騒音レベル							3.0	1.00	4.0	1.00	
2 設備騒音対策											
病室は居住空間になるので、遮音壁を採用した											
<b>1.2 遮音</b>							<b>3.0</b>	0.40	<b>4.2</b>	0.50	
1.2.1 1 開口部遮音性能							3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能									5.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									5.0	0.20	
病室は居住空間になるので、遮音壁を採用した											
病室は居住空間になるので、衝撃を伝えにくい仕上とした											
病室に隣接する場所は、衝撃を伝えにくい仕上とした											
1.3 吸音							<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.21	
<b>2 温熱環境</b>							<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>							<b>2.2</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
2.1.1 1 室温設定							3.0	0.30	3.0	0.60	
2 窓の開口・遮断制御											
3 外皮性能					W		4.0	0.20	3.0	0.40	
4 ソーン別制御性							1.0	0.50			
2.1.2 2 湿度制御											
2.1.3 3 湿度制御											
2.1.4 4 湿度制御											
2.1.5 5 湿度制御											
2.1.6 6 湿度制御											
2.1.7 7 湿度制御											
2.1.8 8 湿度制御											
2.2 湿度制御							<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式							<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
外断熱とした											
<b>3 光・視環境</b>							<b>3.0</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>							<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
3.1.1 1 昼光率							3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口											
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 グレア対策</b>							<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
3.2.1 1 グレア対策											
2 昼光制御					W		3.0	1.00	3.0	1.00	
<b>3.3 照度</b>							<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.3.1 1 照度							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度の管理											
<b>3.4 照明制御</b>							<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	
ベッド単位で照明制御が出来るようにした。											
<b>4 空気質環境</b>							<b>4.4</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00	<b>4.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>							<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63	
4.1.1 1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学物質汚染											
3 化学物質汚染											
4 化学物質汚染											
F☆☆☆☆を採用した											
<b>4.2 換気</b>							<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
4.2.1 1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.50	
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.50	
4 自然換気											
自然換気有効開口建具を設置した											
<b>4.3 運用管理</b>							<b>5.0</b>	0.20			
4.3.1 1 CO <sub>2</sub> の監視											
2 喫煙の制御							5.0	1.00			
建物全体を禁煙とした											
<b>Q-2 サービス性能</b>								0.30			<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>							<b>3.8</b>	0.40	<b>4.8</b>	1.00	<b>3.9</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>							<b>3.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60	
1.1.1 1 広さ・収納性									5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応											
3 バリアフリー計画							3.0	1.00			
病室において、個室では10m <sup>2</sup> /床、多床室では8m <sup>2</sup> /床以上を確保した											
<b>1.2 心理性・快適性</b>							<b>5.0</b>	0.40	<b>4.5</b>	0.40	
1.2.1 1 広さ感・景観									4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画							5.0	1.00	5.0	0.50	
病室において、天井高2600とした											
内装に木調を使用したり、間接照明を設置したり、落着きのある空間とした											
<b>2 耐用性・信頼性</b>							<b>4.0</b>	0.31			<b>4.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>							<b>4.6</b>	0.48			
2.1.1 1 耐震性							5.0	0.80			
2 免震・制振性能							3.0	0.20			
基準以上の耐震性を有する											
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>							<b>3.5</b>	0.33			
2.2.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		5.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29			
2.2.2 2 設備機器の更新											
1 配管・配線材の更新											
2 設備機器の更新											
3 設備機器の更新											
<b>2.4 信頼性</b>							<b>3.4</b>	0.19			
2.4.1 1 空調・換気設備							3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20			
3 電気設備							5.0	0.20			
4 機械・配管支持方法							3.0	0.20			
5 通信・情報設備							3.0	0.20			
非常用発電機・無停電電源設備を備え、受電設備の二重化をした。											

スコアシート		重点評価項目 : W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.2</b>	0.29	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 空間のゆとり				低層階は4400、病棟階は3700とした	<b>4.2</b>	0.31	<b>3.6</b>	0.50	
1 階高のゆとり					5.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					<b>3.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性					<b>2.6</b>	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-		
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 既存建物の改修・荷軽減</b>									<b>3.2</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.6</b>
1 建物の熱負荷抑制	W				<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
2 自然エネルギー利用					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			空冷式ヒートポンプエアコン(ビルマルチ)の採用	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
4 効率的運用					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
4.1 モニタリング	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
1 水資源保護					<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水	W				<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					<b>3.5</b>	0.85	-	-	<b>3.5</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>2.3</b>	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>3.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			指定化学物質の含まれていないものを使用する	<b>5.0</b>	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W			増築工事となり、連結部分で再利用となる	<b>4.0</b>	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			用途上、改修等を想定した計画となっている	<b>5.0</b>	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.3</b>	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.05	-	-	<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制					<b>3.0</b>	0.05	-	-	<b>3.0</b>
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				既存建物と共同駐車場になる。地下の荷捌き駐車場は、既存建物と一体で利用できるように配慮した	4.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		2.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		病院				面積按分
		13,449 m <sup>2</sup>	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		3.0	-	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの	ERRによる評価	5.0	-	-	-	<b>5</b>
	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	
3.2 換気設備		-	-	-	-	
3.3 照明設備		-	-	-	-	
3.4 給湯設備		-	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	